



ひ ゆ ー ま ん ら い つ

第61号 平成17(2005)年12月

人権週間 育てよう 一人一人の人権意識

～ 思いやりの心・かけがえない命を大切に ～

「世界人権宣言」は、基本的人権及び自由を尊重し確保するために、世界のすべての人々とすべての国々とは達成すべき共通の基準として、昭和23(1948)年12月10日の第3回国連総会において採択されました。

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための行事を実施するよう呼びかけています。

わが国では、この「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日～10日)を「人権週間」と定め、人権尊重思想の高揚を図るため、全国的にさまざまな人権啓発活動を展開しています。



平成17(2005)年度「人権週間」の重点目標は…

- 女性の地位を高めよう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切にすることを育てよう
- 障がいのある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性同一性障がいを理由とする差別をなくそう

「人権」は、誰もが生まれながらに持っている「幸せに生きる」ための権利です。

今、世界では戦争や貧困によって多くの人々が犠牲になっています。日本でも、幼い子どものいのちを奪う痛ましい事件が連続して発生しています。

この機会に「人権の大切さ」について、一人一人が自分のこととして考え、家庭、職場、地域で、みんなで話し合ってみましょう。



第31回米子市人権・同和教育研究集会

～みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう～

「人権の世紀」と呼ばれる21世紀を迎え、人権に対する正しい知識を深め、お互いの人権を尊重しあう社会を築くことが一層強く求められています。私たち一人一人の人権意識の高揚と学習活動の充実を図るため、米子市人権・同和教育研究集会を開催します。

日時 平成18(2006)年1月19日(木)

全体会 米子コンベンションセンター多目的ホール
午前9時20分から12時まで

分科会 米子コンベンションセンター 会議室 他
午後1時30分から4時30分

【お問い合わせ先】

第31回米子市人権・同和教育研究集会実行委員会
事務局：米子市人権政策課 電話 0859-23-5415

意見発表『「人権」だいすき!』

高橋喜美子さん(米子市立就将小学校PTA)

『差別のない明日へ～仲間とともに歩む～』

福原千秋さん(鳥取県立米子東高等学校2年)

記念講演『ハンセン病問題にみる差別の二重構造』

徳田靖之さん

(ハンセン病違憲国賠訴訟西日本弁護士団代表)

たくさんのご来場
ありがとうございました

よなごの人権フォーラム'05

「幸せな子ども時代」が人権文化の土台をつくる ～愛されて生きる、愛して生きる～

講師 ホリスティック教育実践研究所所長 金香百合 さん

多くの方からご要望のあった金香百合さんに、ようやく来ていただくことができました。2時間30分の間、会場の250人がピターッと一つになりました。

金さんの願いは、すべての人が差別やいじめや暴力なく、いきいきと「自分らしく」幸せに生きる世界＝「人権文化」の実現。そのためには、一人一人のセルフエスティーム（自尊感情）を高めることが必要であり、「幸せな子ども時代」が土台となるということです。

セルフエスティームが高いとき、低いときどうなるかについては、前号に掲載しました。では、セルフエスティームを育むために必要なことは何でしょう？

- ♡ からだの栄養・・・食べる・ねる・うごく
- ♡ こころの栄養・・・安心・安全・大切・関心・聴く・ほめる・信じる・感謝する・あるがままを受け入れる

からだところの栄養を循環させる⇒温まる⇒光に向かって伸びる⇒からだの中から
パワーが出てくる

- ♡ 子どもと対話する、家族と対話する、全身を大きな耳にして「聴く」
- ♡ スロー&シンプル・・・ゆっくり丁寧に、「早く」と追い立てない、あれもこれもと求めない、満足を知る
- ♡ ノーテレビ・デー・・・家族で意識して対話する日をつくる
- ♡ 親と一緒に家事やお手伝いをして生活力をつける、料理・掃除・洗濯などを対話しながら楽しく教える
- ♡ テレビゲームや携帯電話をできるだけ与えない、与えるときは明確なルールをつくる
- ♡ 消費主義にながされない、不必要なモノを与えすぎを親自身がやめる
- ♡ 子どもを商品化しない、子どもの髪を染めない、ブランド物で着飾らない

「人間とは、人と人との間で『愛されて生きる、愛して生きる』存在。さまざまな差別や人権抑圧を引き起こす人々のこころの栄養不足からくる魂の叫びを感じる。こうした栄養不足から他者の栄養を奪っていく奪い合いの関係が蔓延する時代だからこそ、私は愛を、こころの栄養を惜しみなく与え合う関係を提唱したい。」と、金さんは言われます。

「『忙しいけど・・・』と心の片隅にそんな言葉を抱きながら会場に行きました。けれど、来てよかった。自分自身の課題が見つかりました。金さんの話から力をもらいました。」という参加者の声もいただきました。ご参加いただいた皆さま、金さん、そして開催にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

年末年始のお知らせ

今年一年、人権情報センターをご利用いただきありがとうございました。来年も引き続きよろしく願いいたします。

休館日 12月30日(金)～1月4日(水)



○お詫び

「今月の本棚」はお休みさせていただきました。



米子市人権情報センター（人権政策課内）

URL : <http://yonago-city.jp/jinken/>

米子市東町 161-2 TEL0859-37-3183 Fax0859-37-3184